

阪急逆瀬川駅前のアピア3・B2Fがリニューアルオープンします！

5/7 リニューアルオープン!

6/6 スタート!募集中

5/25 開店!

宝塚メディア図書館

マイ野菜市民農園

市村交易 旨いもん市場

6月オープンですので、写真は関連のあるイメージで構成しています。

写真家
畑 祥雄

関西学院大学 総合政策学部 教授

建築家
遠藤 秀平

神戸大学大学院 教授

が手がける

逆瀬川
アートプロジェクト
実行委員会



畑祥雄
Hata, Yoshio

写真・映像・Webのプロデューサーとしても活躍。街づくりは人づくりからがモットー。咲くやこの花賞受賞、ロッテルダムフォトビエンナーレ個人展招待、京都国際映画祭ハイビジョンフェスタ グランプリ受賞。代表作「背番号のない青春」「HANAKO」、「未来の学校」プロデュースなど。

「アートの力」は、タテ型社会を柔らかくヨコにつなぐ。生活者の暮らし方が都市を変容させていく。メディアと建築の力が織りなす新しい空間を宝塚で試みる。新しい街づくりの方法を日本から世界へと伝播させたい。アートが手がけるソーシャルビジネスは持続性を大切にする。(対談)

遠藤秀平
Endo, Shuhei



防災・環境をテーマにした設計も多く、コミュニケーションを大切に世界で活躍する。関西建築家大賞、ベネツィア・ビエンナーレ建築大賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、JIA環境建築賞など。代表作の「兵庫県三木総合防災公園屋内テニスコート」は、大屋根が植物で覆われている。

現代版 晴 耕 雨 読 と 遊 学 食 通

— 素敵な日本人をめざし、生活力を鍛える —

図書館から街をつなぐ、宝塚発のフリーペーパー、
本のある風景



アートブックのコレクション公開 <http://medialib.jp>



主に水耕栽培での野菜育成 詳しくは <http://medialib.jp/>



多彩な道の駅の特産品が集まる

「マイ野菜市民農園」自分で育て食する野菜

水耕栽培で無農薬野菜を育てる！安心・安全を追求した都市生活者のための屋内型の市民農園が逆瀬川の駅前に登場！<先着順で予約受付中！>

マイ野菜市民農園で
育つ野菜たち



サニーレタス



ラディッシュ



ハツカダイコン



ミニトマト



レモンバーム



ベビーキャロット



ゴボウ

○その他にも…(約20種類)

コスレタス、水菜、小松菜、辛味大根、チンゲン菜、アイスプラント、ミントチマサンチュ、スイートバジル、フリルアイスガーデンレタス、ベンリ菜、オオバカラシ、ルッコラ、イタリアンパセリ、オクラ、ナス、スイカ、メロンなど

詳しくは<http://medialib.jp/>

東日本大震災 3年間プロジェクト 災害復興支援

Directed by 社会福祉法人 希望の家

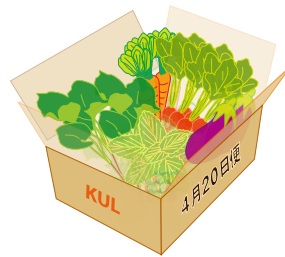
協力：宝塚市・関西都市居住サービス
サイエンス映像シンクプロダクション
三進金属工業・クルーズ・森久エンジニアリング
遠藤秀平・畑 祥雄

「マイ野菜市民農園」は震災復興に継続的に参加します。

野菜を育て、贈ろう 東北の福祉施設に!

心をこめて育てた野菜を被災地に贈る。持続的な支援活動にぜひご参加下さい。

詳しくは裏面の
レンタルプランを
ご覧下さい!



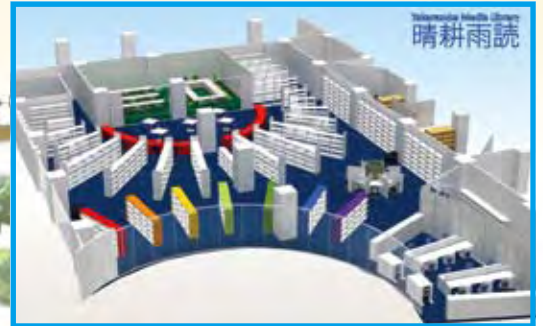
野菜育成のサポートには、「希望の家」の障がい者雇用と提携します。

6/6スタート!

マイ野菜市民農園



子どもから高齢者までもが耕せる、天候や害虫に左右されない、美しい野菜棚。もちろん完全無農薬で安心安全な食べもの。経済効率よりも食育で自然を遊学する。オリジナルな野菜を入門編から熟練編まで学びながら自由に育てるレンタル農園です。



5/7リニューアルオープン!

宝塚メディア図書館

アート & デザインの専門図書館です。写真・映像・美術・デザイン・音楽・サイエンスに関する国内外の写真集・作品集・展覧会カタログ・評論集・雑誌などや、グラフ雑誌「ライフ」のコレクションを公開するなど、20年の歴史を持っています。また、その豊富な資料を活かした「写真」「映像」「音楽」のアートスクールも運営中です。

5/25 開店!

旨いもん市場

郊外都市と過疎農村を高速道路で結び、特産物を旨いもん市場で販売する。将来的には村の高齢者の人間ドック、子どもたちの手塚治虫記念館での遊学、村民の宝塚歌劇の観劇や宝塚温泉へのツーリズムで過疎村をサポート。同時に、宝塚の観光産業を活性化させる「市村交易ネットワーク」に発展させます。



画像はイメージイラストです

現代版

未来志向な

晴耕雨読と遊学食通とは

都市に住む人が農業を体験しながらアーバンファーマー（都市農民）になる農園です。また、市村交易は物々交換の精神で、郊外都市と過疎農村を高速道路で結び直します。そして本から電子図鑑までを扱う複合型駅前広場です。古き諺を現代に甦らせ未来志向な生活スタイルを提案するのが「宝塚メディア図書館」「マイ野菜市民農園」「市村交易旨いもん市場」です。

市民農園
特徴

1

誰でもはじめられる! より良い野菜づくりのための “野菜作り 定期講習会”

都市生活者にも農民の気持ちを共有していただくためにも、ささやかな野菜育てのノウハウを月1回学びながら実践します。

市民農園
特徴

2

iPadを活用!(詳しくは<http://medialib.jp>) “遠隔地からの市民農園利用”

北海道、東京、沖縄からでも逆瀬川の市民農園で野菜が育てられます。収穫はサポートスタッフがいきいクール宅急便で自宅まで配送!(この市民農園の会員第1号は東京八王子の方です)

市場
特徴

4

各地域で話題の「道の駅」を支援するのが 宝塚・逆瀬川駅前アピア3の “市村交易ネットワーク”

レール(鉄道)の駅前に高速道路や国道沿いで賑わう「道の駅」が来ることで車を持っていない人でも、各地の多彩な特産品等を“遊学食通”することができます。また、東日本大震災の被災各県からの特産品を集積しての販売支援にも取り組んでいきます。

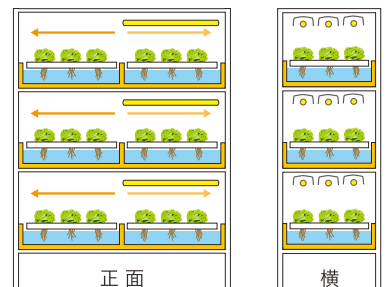
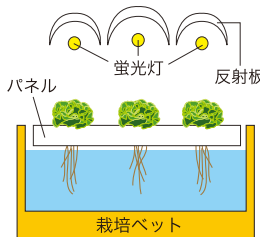
市民農園
特徴

3

水耕栽培で無農薬野菜を育てる! “安心・安全を追求した屋内型の市民農園”

「植物工場」の設備技術を応用した、新開発の野菜棚を使用。太陽光に合わせた光と管理された水で野菜を育てる、都市生活者に優しい市民農園です。

<栽培棚の仕組み>



図書館
特徴

5

専門図書館には講座が必要。 “アートスクールで才能を開花!”



それぞれの分野の体系や文脈を知ることで知的な遊びが生まれ、やがて生きがいにつながります。
写真表現を学ぶ: 写真表現大学/OICP写真学校
映像表現を学ぶ: IMI/グローバル映像大学
音楽表現を学ぶ: デジタルサウンド講座
野菜育てを学ぶ: アーバンファーマー養成講座
★ウェブサイト: <http://medialib.jp>

レンタル農園<先着順>

先行予約受付中!

詳しくは >

TEL 0797-76-5721
FAX 0797-76-5725 (担当:田中・杉本・浅野)
サイエンス映像シンクプロダクション(株)まで

ホームページからお申し込み頂けます

<http://medialib.jp>

選べる安心プラン

例) レタス栽培なら、35日~45日で24個穫れます! 露地栽培の3~4倍の収穫が可能

- A 月額 6,000 円: 市民農園+定期講習+カフェチケット+図書館有料会員 (年間5,000円分を含む)
- B 月額 8,000 円: iPad+WEBカメラ+市民農園+定期講習+カフェチケット+図書館有料会員
- C 月額 4,000 円: Aプランで収穫する野菜を災害復興支援で被災地の福祉施設に贈る
- D 月額 5,000 円: Aプランで収穫する野菜の半分を災害復興支援で被災地の福祉施設に贈る
- E 月額 6,000 円: Bプランで収穫する野菜を災害復興支援で被災地の福祉施設に贈る
- F 月額 7,000 円: Bプランで収穫する野菜の半分を災害復興支援で被災地の福祉施設に贈る
- G 月額 500 円~1,000 円: 2人~12人のグループで借りて育てる入門コース (要相談)

オプション メンテナンス特注:一棚300円/月 水やり等のメンテナンスは障がい者雇用として社会福祉法人「希望の家」が担当します。

※B・E・FプランでiPadを自前で揃えられる方はレンタル価格が1,000円安くなります

